

令和3（2021）年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	ゼミナールⅣ（SeminarⅣ） 264046-14000					担当教員	権 五景 （グオン オーギョン）		
科目区分	ゼミナール科目	必修・ 選択区分	必修	単位数	2	配当年次	4年次	開講期	通年
科目特性	地域志向科目 / 学生参加型AL / 協同学修型AL / 課題解決型AL / 外部講師招聘科目								

① 授業のねらい・概要
地域資源の活用こそ、地域経済の発展につながるという考え方の下で地域活性化のために活動している。活性化の対象としているのは「十分杯」である。十分杯は広報活動と動画制作に力を入れる。十分杯のブームを起こすことを目標とし、その火付け役になれるよう情報生産に力を入れていく。
② ディプロマ・ポリシーとの関連
①地域社会に貢献する姿勢 / ②職業人として通用する能力 / ③専門的知識・技能を活用する能力 ④コミュニケーション能力 / ⑤情報収集・分析力
③ 授業の進め方・指示事項
活動の理由を各自が自覚するためと目標に到達するためのディスカッションと、学外での活動を中心に進める。
④ 関連科目・履修しておくべき科目
なし
⑤ 標準的な達成レベルの目安
(i) 地域の歴史と現状について他人に説明できるようになる。 (ii) 歴史絡みの観光資源の開発で地域社会を盛り上げることである。 (iii) この2つの目的を達成していくにあたって、文献研究、広報活動、関係団体との打ち合わせ等々を行っていく。この一連の活動によって、①思考力、②説明力、③行動力、④物事を進める力、⑤提案力が大いに鍛えられる。
⑥ テキスト（教科書）
なし
⑦ 参考図書・指定図書
なし

⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法								
具体的な学習到達目標	試験	小テスト	課題	レポート	発表・ 実技	授業への 参加・意欲	その他	合計
総合評価割合			15%	30% (報告 書)	40% (ゼミ 活動)	15%		100%
(i) 地域の歴史と現状			5%	10%	15%	5%		35%
(ii) 地域社会を盛り上げる			5%	15%	20%	5%		45%
(iii) 社会人基礎力			5%	5%	5%	5%		20%
フィードバックの方法	毎回前回の活動について議論する。							

⑨ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
余裕を持って活動できるように努めたい。

⑩ 授業計画と学習課題				
回数	授業の内容	持参物	授業外の学習課題と時間（分）	
1	地域活性化論の考察		議論を図にする。	90分
2	地域資源の事例探し		1つの事例を見つけ、写真と文章をA4サイズで1枚に整理する	90分
3	これまでの活動説明	昨年度の報告書	十分杯の魅力について、各自の考えをまとめる。	90分
4	郷土史料館見学		日本一古い十分杯を見た感想を800字程度に作成する。	90分
5	教訓と文学作品		十分杯の教訓と繋がる文学作品を調べる。	90分
6	世界と長岡藩と十分杯との関わり		当時がわかる資料を探し出す。	90分
7	実験と仕組み		自分の言葉で説明できるように台本を作成する。	90分
8	実験道具作り		大気圧説を証明するための道具を作る。	90分
9	フィレンツェ地域のワイン・マーケティング戦略と十分杯		日本における地域合同ブランドを調べる。	90分

10	知足十分杯の製作		製作を行う。	90分
11	イベントでの広報資料と方法		時間配分と必要道具について800字程度に作成する。	90分
12	動画制作の企画		取材の準備を行う。	90分
13	取材		取材を行う。	90分
14	動画編集①		動画編集を行う。	90分
15	動画編集②		動画編集を行う。	90分
16	動画制作の企画		取材の準備を行う。	90分
17	取材		取材を行う。	90分
18	動画編集①		動画編集を行う。	90分
19	動画編集②		動画編集を行う。	90分
20	中間レビュー		中間レビューを行う。	90分
21	動画制作の企画		取材の準備を行う。	90分
22	取材		取材を行う。	90分
23	動画編集①		動画編集を行う。	90分
24	動画編集②		動画編集を行う。	90分
25	成果発表会準備		原稿を修正し、練習する。	90分
26	成果発表会準備		原稿を修正し、練習する。	90分
27	報告書作成		原稿を修正する。	90分
28	報告書作成		原稿を修正する。	90分

29	報告書作成		原稿を修正する。	90分
30	1年の活動を振替える。		後輩へ伝えたいものを記録として残す。	90分

⑪ アクティブラーニングについて				
全回、学生参加型 AL、課題解決型 AL、協同学修型 AL で行う。課題を履修生自らが発見し、協同で文献研究及び地域への提案事項を検討していく。悠久祭や地域活性化プログラム成果発表会等でプレゼンテーションを行い、活動内容をまとめて報告書を作成する。				

※以下は該当者のみ記載する。

⑫ 実務経験のある教員による授業科目				
実務経験の概要				
実務経験と授業科目との関連性				